

質問書回答

2020年1月31日

案件名：全世界起業家・中小企業育成のための官民基金連携に係る情報収集・確認調査(QCBS)

案件番号：19a00687

公示日：2020年1月15日 について、質問の回答は以下のとおりです。

※シェード部分は回答済みです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.11 1. 業務の背景	想定されている新ファンドでは、海外を拠点として活動する日本のベンチャー・スタートアップ企業も投資対象として含まれるのでしょうか。	投資対象範囲については本調査における検討項目となります。主眼はODA対象国におけるベンチャー・スタートアップ企業となります。
2	P.13 6. 業務の内容	新ファンドの対象セクターは、SDG7、SDG8 に資するもの限定という理解で良いでしょうか。	SDG7、8 に限定せず、SDGs の他のゴールに資するセクターも対象になります。
3	P.15 (7)対象国におけるファンド設立に必要な現地調査	調査を行う国は提示された調査対象国となりますが、実際のファンド設立はそれ以外の国(シンガポール等)であり、そのためのその国の現地調査も行うという選択肢もあるのでしょうか。	ご提示の選択肢もあり得ます。ただし、現状未確定のため、プロポーザルにて旅費を計算する場合は、現地調査としてインドとカンボジア、連携候補先として英国を想定して計上してください。
4	P.20 2. (2)業務量目途と業務従事者構成案	要員に関し、業務量の範囲以内であれば、提示されたポジションに複数メンバーを配置したり、業務内容を切り分けたりする(業務主任者とファンド設立を別メンバーにする)ことも可能でしょうか。	要員計画上の制約から追加メンバーの配置をご提案頂くことは可能ですが、評価対象者の人月が大幅に下がることは良しとしません。人月が限られていることと、発注者・連携先との円滑な情報共有の観点から多数のメンバーの配置は必ずしも望ましいとは考えておりません。また業務主任者とファンド設立を別メンバーにすることは配点が変わるため認められません。

5	様式 2-4	<p>「業務期間が重複して応募している案件について」は、「単独型」用の書類であると認識しているが、本案件では提出しなくてもよいか？</p> <p>提出する必要がある場合、「物品の調達・役務の提供等 公告」の「政府開発援助業務」は、様式 2-4 の述べる「業務の重複」に該当するか？</p> <p>また、これに該当する場合、業務期間を調整して重複を避けることが出来れば、本案件の応募・採択を妨げるものではないという認識で良いか？</p>	本案件での提出は不要です。
6	第 3 章 2. 業務実施上の条件 (2) 業務量目途と業務従事者構成案(p.20)	<p>2020 年 1 月 21 日付のご回答にて「業務主任者とファンド設立を別メンバーにすることは配点が変わるため認められません」とのご回答があったかと存じます。他方、「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」(2019 年 4 月)の I . 1. (2) 4) 要員計画(p.4)には「企画競争説明書で示した担当業務と異なる業務を提案する場合(例えば、複数の業務従事予定者が同一の業務を分割して担当する場合等)や、企画競争説明書に示された業務量の目途と著しく異なる場合には、その考え方を具体的に記述の上、そのメリット及びコストについて説明してください」と記載がございます。本案件についても、企画競争説明書で示された業務主任者の担当業務と異なる業務を提案する(例えば、「ファンド設立準備」を複数名で担当する、または、業務主任者が「ファンド設立準備」以外の業務を担当する等)ことは可能でしょうか。</p>	<p>業務主任者の担当業務が、<u>評価対象である限り</u>においては、異なる業務を提案することは可能です。</p> <p>また、「ファンド設立準備」を、業務主任者と共に複数名で担当することも可能です。</p>

7	P14~16 (主に P16 の(8)に関しまして)	<p>案件名が「官民基金連携に係る情報収集・確認調査」となっていますが、実際の業務内容ではファンドの設立・運営が求められているように受け止められました。こちらの相違点にもしご担当者様の思惑や意図がございましたら、より良い提案資料作成のためにも、ご教示頂けないでしょうか？</p>	<p>ファンドの設立・運營業務は求められておりません。本調査ではファンドの設立・運営をするにあたり必要な情報収集や JICA による支援体制の検討、新たな枠組みの創設に必要な準備業務の整理(行政手続き、権利関係等の整理、また協力枠組み案ペーパー作成等、ファンド設立にあたり必要になり得る書類案の整理・作成業務も含む)までが発注者が求めている業務範囲であり、実際にファンドを設立し、運営をするところまでは求めていません。調査の成果を活用して、連携先等により新ファンドが設立されることを期待しています。</p>
8	P14~16	<p>案件名で“官民基金”と題している一方で、企画競争説明書の説明中では“ファンド”設立のための調査との記載がなされています。当方のイメージでは“官民基金”は助成金を拠出する機関、“ファンド”は投資を実施する機関であり、目指す方向性が異なるように思われます。</p> <p>案件名と説明書の間で表現を変更されたのは何か意図があるのでしょうか。</p> <p>また、貴機構としては助成金と投資のどちらに重きを置かれた組織の設立を検討されているのでしょうか</p>	<p>案件名では“基金”と記載しており、企画競争説明書の説明中では“ファンド”と記載しておりますが、両者の間で表現を変更したことに意図はなく、同義として使用しております。ここで使われている基金(=ファンド)とは「投資のために集めた資金」や「運用を目的とする一定規模以上の資金」を意味します。助成金を拠出することは想定しておりません。</p>
9	P13「6.業務の内容」脚注 5 及び p20「(3)現地再委託」	<p>現地再委託に関して、p13 の脚注では「本調査の効率的な実施や将来の協力実施時に向けた現地リソース開拓等の観点から現地再委託の積極的な提案も歓迎する」とありますが、一方で p20(3)で</p>	<p>p13 の脚注が正しいです。従って、p20(3)では「現地法人(ローカルコンサルタント)への再委託は無し」と記載しておりましたが、正しくは「本調査の効率的な実施や将来の協力実施時に向</p>

		は「現地法人(ローカルコンサルタント)への再委託は無し」となっております。どちらの内容が正しいのでしょうか？ また、再委託の提案をした場合、同費用は別見積もりではなく、QCBS の点からはコスト評価の対象となりますでしょうか？	けた現地リソース開拓等の観点から現地再委託の積極的な提案も歓迎する」に変更させて頂きます。 また、再委託の提案をした場合、同費用はQCBS の点からコスト評価の対象となります。
10	P13「 6.業務の内容(2)」、p16(8) 「ファンド設立に必要な準備業務の整理」	連携候補先の GCF に関しては、連携を前提として考えるのではなく、あくまでシェル財団との協議の結果に基づきシェル財団との相乗効果等が期待できるのであれば検討するというスタンスと理解しても宜しいでしょうか？	ご認識の通りです。
11	P.11 第 2 章 特記仕様書案 1. 業務の背景	「起業家・スタートアップ企業・中小企業に対するファイナンス(ファンド等)及び事業化支援を行う官民の枠組み(プラットフォーム)の組成」と幅を持って表現されている一方、「6. 業務の内容」においては明確にファンド設立を意図した業務が記載されています。この点、本件業務において 6.(2)～(4)の調査結果を踏まえて枠組みのオプションを広く検討する過程で優先順位付けを行うものであって、ファンド設立はこのような枠組みの一つではあるものの、必ずしも所与とされているものではないとの理解でよろしいでしょうか。	ご記載のとおり、6.(2)～(4)の調査結果次第ではファンド設立をせず、それ以外のオプションを検討することになる可能性もありますが、まずは新ファンドを設立することを優先順位の最上位の一つとして位置付けて調査を実施ください。本調査の成果を活用して連携先等により新ファンドが設立されることを期待しています。
12	P.12 第 2 章 特記仕様書案 3. 調査対象国	対象国として、日本センター所在国が含まれていますが、本件調査において想定されている日本センター(特に、現時点でスタートアップ支援を積極的に行っていないセンター)の役割についてご教示ください。	日本センターの役割としては、①投資対象先となり得る日本センターのビジネスコース受講企業(修了生企業含む)や関連企業についての情報提供、②日本センターと連携したスタートアップ支援プログラム(現時点ではスタートアップ支援を行っていないセンターの場合も、新規プロ

			グラムとして立ち上げる可能性を検討)等が主に想定されます。それ以外にも日本センターが果たしうる役割があれば調査内でご提案いただけると幸いです。
13	P.12 第2章 特記仕様書案 5. 業務実施上の留意事項(2)	<p>対象とする連携候補先については、より数が多い方が貴機構としては可能性が広がるため望ましいと理解しますが、他方で、数が増えるにつれてそれぞれの連携候補先との協議やそれに向けた調整・調査に相当の工数が必要となると思料します。</p> <p>このため、予め貴機構との間で協議を行い、一つないしは二つなりに対象先を絞った上で、現地調査も含めた本格調査を行うとの理解で正しいでしょうか。</p> <p>また、GCF のコンセプトペーパー作成の例のように、連携候補先をどこにするかによって、作業の内容や業務量が異なる可能性があると思いますが、そのような可能性が見込まれる場合は、契約変更も含めて相談が可能であると考えてもよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおり、連携可能性のある候補先について幅広く情報収集した上で、「6. 業務の内容」(5)以降は、連携候補先を絞った上で、現地調査も含めた本格調査を実施することになります。</p> <p>また、連携候補先次第で作業内容や業務量が変わる場合についてのご質問への回答ですが、基本的には現在の業務量内でご対応いただければと思います。ただし、契約変更の可能性も排除はしません。例えば、GCF のコンセプトペーパー作成については、記載のとおり、所定の業務量で対応困難な場合は、契約変更による追加調査も検討します。</p>
14	P.12 第2章 特記仕様書案 5. 業務実施上の留意事項(2)	<p>貴機構とシェル財団の間では既に累次の協議等を通じて関係が構築されており、本調査においては同関係に基づいて業務を進められるのか、あるいは、本業務において新たに関係性を構築するところからスタートする必要があるのかをご教示ください。</p>	<p>シェル財団と弊機構の間では既に一定の関係が構築されているので、本調査においては、既存の関係に基づいて業務を進めていただく予定です。なお本調査では、受注者がシェル財団との連絡窓口となり、面談等の調整を行っていただきます。</p>

15	P.12 第 2 章 特記仕様書案 5. 業務実施上の留意事項(2)	貴機構が、起業家・中小企業育成の文脈において、GCF を連携先の一つとして想定している理由について、可能な範囲で認証実施機関としての貴機構の活動状況や GCF との協議状況も含めて、ご教示ください。	シェル財団は「エネルギーアクセス」分野を投資対象の一つとしておりますが、当分野は GCF の設立目的「途上国の気候変動対策への資金支援」とも合致すること、2017 年に JICA が GCF 認証機関となったことから、シェル財団及び GCF と GCF グラント資金を活用した連携可能性について GCF の一担当者とは非公式協議がありました。しかし GCF と案件の具体化まで話は至っておりません。 本調査範囲は起業家・中小企業育成を主目的とし、エネルギーアクセス分野に限定せず、幅広い開発課題分野を対象とするため、GCF ありきではなく、GCF 資金活用の可能性も視野に入れて検討することを想定しています。
16	P.13、14 第 2 章 特記仕様書案 6. 業務の内容(3)および(4)	ブレンデッドファイナンスやメザニンファイナンスのように比較的大きな金額の調達を前提としたファイナンス手法に係る業務が調査対象に含まれておりますが、投資対象となるスタートアップの規模感のご想定があればご教示下さい。特に規模感の想定はなく、あらゆるファイナンス手法に関し調査を想定されていますでしょうか。	投資対象となるスタートアップの規模感については本調査でご提案いただきたいと考えています。ファイナンス手法についても同様に、投資対象の規模やセクター、インパクト目標等の性質に応じたファイナンス手法についてご提案いただきたいと考えております。
17	P.22 第 3 章 プロポーザル作成に係る留意事項 5. 見積書作成にかかる留意事項(6)	渡航回数について英国 3 回とありますが、6. 業務の内容の記載からは、連携候補先との協議は、「(6)連携候補先との協議(第 1 回)」と「(9)連携候補先との協議(第 2 回)」の計 2 回であると読み取れます。残り 1 回は、どのような目的・業務内容、	連携候補先との協議は、記載いただいているとおり「(6)連携候補先との協議(第 1 回)」と「(9)連携候補先との協議(第 2 回)」の計 2 回ですが、(6)もしくは(9)のいずれか 1 回については、2 名の業務従事者に渡航いただく想定のため、渡

		タイミングでの渡航を想定されていますでしょうか。	航回数は英国計 3 回としております。
18	プロポーザル評価配点表	語学力の配点・評価に関して、現在配置を予定している者が海外経験が豊富で本案件業務を実施するにあたって全く問題ないと考えていますが、所謂 TOEIC 等の語学試験の点数を持っていない場合、外国語圏への留学経験を除いた何か別の方法で評価して頂けないか？	語学力については、語学試験証明書及び海外大学卒業証明書をもって基準に従い評価します。万が一それらが無い場合も、基準に従い評価します
19	調査報告書	各種調査報告書・レポートの想定しているページ数量等がございましたらお教え下さい。	調査内容を網羅いただければ特にページ数量の想定はございません。

以上